



今年も残すところあと2ヶ月を切りました。朝晩が冷え込むようになり、体調管理が難しいだけでなく、秋花粉に悩まされている方もいらっしゃるかと思います。

先日、鳥海高原家族旅行村で開催された新そば祭りに行ってきました。あいにくの雨でしたが、美味しい蕎麦と天ぷらをいただき、秋の味覚を堪能しました。私はもっぱら食欲の秋ですが、年間を通して旬の食材を食べることで季節を感じ取っています。旬の食材は季節に合った体づくりを手助けしてくれるようですので、美味しく季節を味わいながら、体調を整えていきましょう。

(担当) Y. G

目 次

1. 農業者向けの土づくり研修会の開催について
2. 今月のおすすめの農業体験をご紹介します！
3. GAP 基礎研修会の開催について
4. 国際水準 GAP 認証取得ガイダンスの開催について
5. 食と農のビジネス塾 一般公開講座の開催について
6. 花のある暮らしを目指して！おはなのいろは❀
7. 米に関するマンスリーレポート等（令和7年10月）

【1. 農業者向けの土づくり研修会の開催について】

今年は夏季の高温少雨など、近年と同様に様々な異常気象が発生しました。土づくりなどの令和8年の営農に向けて今からできること・また来春からできることに関連した研修会を以下の日程・会場で開催予定です。

日程	場所	開催時間
11/10（月）	松嶺コミュニティセンター	13：30～15：00
11/10（月）	平田タウンセンター	18：00～19：30
11/17（月）	本楯コミュニティセンター	18：00～19：30
11/20（木）	広野コミュニティセンター	18：00～19：30

○講 師／ 株式会社 ファーム・フロンティア 取締役会長 博士（農学）

藤井 弘志 氏

○主 な 内 容／ 今年の気象被害を受けて来年度の営農に向けてできること、また
堆肥の有用性とその成分の計算方法・利用方法の解説

○参 加 費 用／ 無料（1 会場につき20 名程度が上限）

○問い合わせ先／ 酒田市農政課 生産振興係

TEL：0234-26-5752 FAX：0234-26-6483

【2. 今月のおすすめの農業体験をご紹介します！】

酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会で提供している農業体験をご紹介します。
秋が深まるこの時期におすすめの農業体験は以下のとおりです。ご興味のある方は
ぜひ申し込んでみてください！

○体験メニューのご案内

- ・体験メニュー：長ネギ収穫体験

提 供 者：村上 淳子

連 絡 先：0234-28-2384

期 間：10 月中旬～12 月

料 金：5kg 500 円（土付き）

体験人数：2 名～20 名



- ・体験メニュー：コキアを使ったやわらかほうき作り

提 供 者：庄内空港緩衝緑地パークセンター（村上・齋藤）

連 絡 先：0234-92-4427

期 間：通年

料 金：1 本 200 円

体験人数：4 名～



・体験メニュー：女神の山「胎蔵山」トレッキングガイド

提 供 者：ごすけ（岩間 政幸）

連 絡 先：080-5576-1492

期 間：4月～11月

料 金：1組 10,000 円

体験人数：10 名～30 名



○申し込み／農業体験提供者へ直接連絡

○問い合わせ／酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会

（電話：25-3100／HP：<https://www.sakatagreentourism.com/>）

【3. GAP 基礎研修会の開催について】

安心安全な農作物が求められる現代において、GAP（農業生産工程管理）の取組は生産者や流通関係者の皆様に役立つものとなります。そのため、GAP の意味や取組内容についての基礎研修会が下記日程で開催予定です。

○開催日時・会場

【置賜会場】 置賜総合支庁本庁舎 講堂（米沢市金池七丁目 1-50）

12月8日（月） 午後1時30分 ～ 午後3時30分

【最上会場】 東北農林専門職大学 キャリアサポート・研修センター（緑風館）
研修室（新庄市大字角沢 1366）

12月9日（火） 午前10時00分 ～ 正午12時00分

○研修内容

「GAP 概論 ～持続可能な農業のための適正な実践と推進のための基礎～」

講師：安心農業株式会社代表取締役、JGAP 上級審査員

藤井 淳生（ふじい あつお）氏

○参加申し込み

下記 URL より申し込み

<https://agrin.jp/r7yamagatagap-kensyu.html>

○問い合わせ先

山形県農林水産部農業技術環境課 農産物安全担当

TEL：023-630-2481 FAX：023-630-2456

【4. 国際水準 GAP 認証取得ガイダンスの開催について】

GAP（農業生産工程管理）は、農産物の安全管理手法のひとつとして広まってきており、EU においては GLOBALG.A.P.認証取得が農産物の取引条件とされるなど、農作物生産において GAP 導入が世界的な潮流となっています。そこで、国際水準 GAP（GLOBALG.A.P.、ASIAGAP、JGAP）の認証取得に意欲のある団体や指導者を対象にしたガイダンスが下記日程で開催されます。

○開催日時・会場

【置賜会場】 置賜総合支庁本庁舎 講堂（米沢市金池七丁目 1-50）

12月23日（火） 午前9時30分 ～ 午前11時15分

【村山会場】 山形県高度技術研究開発センター第1・2研修室
（山形市松栄 2-2-1）

12月23日（火） 午後1時45分 ～ 午後3時30分

【庄内・最上会場】 文化館なの花ホール研修室（東田川郡三川町横山堤 172-1）

12月24日（水） 午前9時30分 ～ 午前11時15分

○研修内容

「国際水準 GAP の認証を円滑に取得するためのガイダンス」

講師：安心農業株式会社代表取締役、JGAP 上級審査員

藤井 淳生（ふじい あつお）氏

○参加申し込み

下記 URL より申し込み

<https://agrin.jp/r7gap-guidance.html>

○問い合わせ先

山形県農林水産部農業技術環境課 農産物安全担当

TEL：023-630-2481 FAX：023-630-2456

【5. 食と農のビジネス塾 一般公開講座の開催について】

優れた経営感覚と販売ノウハウ等を養成するため、地域定住農業者育成コンソーシアムによる「食と農のビジネス塾」の一般公開講座が開催されます。参加費は不要ですので、興味のある方はぜひご参加ください。

○日 時／11月20日（木）午後1時30分～4時40分

○会 場／酒田市勤労者福祉センター

○対 象 者／どなたでも

○定 員／なし

○内 容／マーケティングやブランディングなどについて

○講 師／HAKU creative concept 株式会社 河合祥太氏

○費 用／無料

○申し込み／11月18日（火）まで

山形大学農学部内「地域定住農業者育成コンソーシアム」事務局へ

TEL：070-2011-5615

【6. 花のある暮らしを目指して！おはなのいろは❀】

「酒田華いっぱいプロジェクト」※では、お花に関する情報をお届けします。今月のおすすめのお花は ストック です。

戦後、物の無い時代に生まれた私にとって、今世には驚くばかりです。その中には花もあります。多くの種類と品種があり、どの花が好きかと聞かれると答えるのはむずかしいですが、あえて選ぶとしたら、ストックでしょうか。ストックにはスタンダード、八重咲スプレー、一重咲き、一重咲きスプレーなどがあり、色も白、ピンク、赤、黄、ラベンダー、アプリコットと豊富です。スタンダードのストックは甘く、優しい香りがあります。（一重のストックは香りが弱いです）

欠点は水が濁りやすく、茎が傷みやすいことです。こまめに水を変えて、茎は水洗いしてください。ストックは冬の花なので暑さには弱いです。部屋の中よりは、玄関に飾ることをおすすめします。帰って来た時はやさしい香りが迎えてくれます。さりげなく花一輪、きっとあなたの心を癒してくれることでしょう。（ストックが終わるころフリーズアが咲きます。フリーズアも香りが好きです。）



ストック

今月の記事は《フラワーブティック花工房（山形県酒田市上本町 2-24）の渡部さん》からご提供いただきました。

※「酒田華いっぱいプロジェクト」は酒田産花きの認知度向上を目指して、市内の有志の生花店と農協、そして市が共同で立ち上げました。

【7. 米に関するマンスリーレポート等（令和7年10月）】

農林水産省より10月号が配信されました。

詳しくは下記 URL よりご参照ください。

○主な掲載内容

特集

- 1 令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量 特集-1
農林水産省（統計情報）HP
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y3
- 2 令和7年産の水田における作付状況（令和7年9月15日時点） 特集-7
農林水産省（農産）HP
<https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/sakudou.html>
- 3 令和7年産米の事前契約（播種前契約）の取組状況について 特集-9

農林水産省（農産）HP

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/index.html>

農林水産省（マンスリーレポート）HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

農林水産省（統計情報）HP

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>



さかた農林水産業お役立ち情報

発行日：毎月1回＋臨時号

発行元：酒田市農林水産部農政課

☆ 酒田市の農業に関するHP

<https://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/nogyo/index.html>

◇ ページ内のリンク先へのアクセスに起因する通信料の増大や被害等については、
発信者は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

◇ 市公式 LINE での配信の登録、配信停止等は下記リンク先を参考に設定をお願いいたします。

https://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/nogyo/nosanbutsu/nosei_line.html





参加費
無料

土づくりは「未来への投資」

土づくり研修会

講師

藤井 弘志

ファーム・フロンティア会長
山形大学農学部客員教授

今年は梅雨時に降雨が少なかったうえに、著しい高温が続き稲作にとって厳しい条件でした。
来年以降も高温・乾燥対策は必須です。
令和8年の営農に向け、稲刈り後にできること、来春できること（作業・堆肥・土づくり資材など）についてお伝えします。

11月4日(火)
18:00～19:30

[会場]
北平田
コミュニティセンター

11月5日(水)
18:00～19:30

[会場]
観音寺
コミュニティセンター

11月10日(月)
13:30～15:00

[会場]
松嶺
コミュニティセンター

11月10日(月)
18:00～19:30

[会場]
平田
タウンセンター

11月17日(月)
18:00～19:30

[会場]
本楯
コミュニティセンター

11月20日(木)
18:00～19:30

[会場]
広野
コミュニティセンター

※各会場、どこに参加してもOK！申し込み不要。
ご都合の良い日をお選びください！

<お問合せ>

株式会社ファーム・フロンティア

酒田市大宮町4-9-3 (スマート農業研修センター内)

TEL/FAX:0234-25-0830/0831

E-mail:info@famfro.co.jp

Dr.藤井の
『学び舎』

コチラ▶▶▶



～GAPは生産者と消費者を信頼で結ぶかけ橋～

令和7年度

GAP基礎研修会

安心安全な農産物がもとめられる現代において、
GAPの取組みは生産者や流通関係者の皆様に
必ず役立つものになります。この研修会に参加して、
GAPの意味や取組内容を一緒に学びましょう！

GAPって
なに？



1 日時・会場等

【置賜会場】令和7年12月8日（月） 午後1時30分～3時30分
山形県置賜総合支庁本庁舎 講堂（米沢市金池七丁目1-50）

【最上会場】令和7年12月9日（火） 午前10時00分～12時00分
東北農林専門職大学
キャリアサポート・研修センター（緑風館）研修室
（新庄市大字角沢 1366）

2 研修内容

「GAP概論

～持続可能な農業のための適正な実践と推進のための基礎～
～GAPは生産者と消費者を信頼で結ぶ懸け橋～」

講師：藤井淳生（ふじい あつお）氏

（安心農業株式会社代表取締役、JGAP上級審査員）

3 対象

生産者、JA、市場・流通関係、各種実需者、
県・市町村等の関係者

4 定員

各会場50名程度

5 参加申し込み

別紙様式（裏面）、もしくは上記QRコードから、
令和7年11月21日（金）までお申し込みください。

↑ 参加申込フォーム



（問い合わせ先）

山形県農林水産部農業技術環境課 農産物安全担当 今部（こんべ）

TEL:023-630-2481 FAX:023-630-2456 e-mail:kombee@pref.yamagata.jp

別紙様式

【GAP基礎研修会出席申込み】

宛先 農林水産部農業技術環境課 今部（こんべ）あて

FAX番号 023-630-2456

e-mail kombee@pref.yamagata.jp

出席者について下記のとおり報告します。

所 属

電話番号

メール

会 場 どちらかに○（ 置賜会場 ， 最上会場 ）

職 名	氏 名

◎ 日時及び会場等

日 時	会 場
令和7年12月8日（月） 午後1時30分～午後3時30分	置賜会場：置賜総合支庁本庁舎 講堂 米沢市金池七丁目1-50
令和7年12月9日（火） 午前10時00分～午前12時00分	最上会場：東北農林専門職大学 キャリアサポート・研修センター（緑風館）研修室 新庄市大字角沢1366

◎ 申込み締切り

令和7年11月21日（金）

地域定住農業者育成コンソーシアム主催

食と農のビジネス塾 一般公開講座

今年も、食と農のビジネス塾のスペシャルな講義を開催します！

地域定住農業者育成コンソーシアムとは、農業を志す若手農業者の自立に向けた研修指導、農産物販売支援等の総合的な機能で支援し地域定住に繋げることを目的に平成 28 年 4 月に発足し、今年で 10 年目を迎えます。

講師 河合 祥太 氏

HAKU creative concept 株式会社
チーフクリエイティブディレクター

- ・地域の街づくりや事業開発、商品開発等を手がけるエキスパート。
- ・企業の今後の未来のあり方に伴走し、経営者の目標を達成する事業会社 HAKU を運営。新規の事業開発等を同時に行っている。
- ・長年の料理人として培った技術と店舗運営のノウハウを経営マネジメントに取り入れている。
- ・山形県では、こめ油を使用した商品開発に携わる。経済産業省 The Wonder 500 にこめ油のスモークオイルが選出されている。



こんな方におすすめ

- ・マーケティングに興味がある方
 - ・ブランディングのことを勉強したい方
 - ・商品の考え方や強みのポイントを知りたい方
- 等々

日 程

2025年11月20日(木) 13:30~16:40

- ・13:40~ 河合祥太氏の講話
- ・16:15~ 日本政策金融公庫より情報提供
- ・16:25~ やまがた農業支援センターより情報提供

会 場

酒田勤労者福祉センター(酒田市緑町 19-10)

費 用

無料

お申込み

地域定住農業者育成コンソーシアム事務局 鶴岡市若葉町 1-23
山形大学農学部内 TEL : 070-2011-5615 Mali : youngf.sp2016@gmail.com
11 月 18 日まで電話、メールにてお申し込みください。

主催:地域定住農業者育成コンソーシアム
共催:日本政策金融公庫、やまがた農業支援センター